

政務活動費 視察・研修会等 報告書

- | | |
|------|------------------------------------|
| ・日 時 | 令和 4 年 8 月 25 日 (木) ～ 8 月 26 日 (金) |
| ・場 所 | 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所 |
| ・参加者 | そうぞう未来 田島忠一 |
| ・項 目 | 住民とのコミュニケーション～対話と発言力の向上 |
| ・講 師 | 京都芸術大学教授 本間正人先生 |

◎概 要

(1) 講義要旨

日頃の活動のなかで住民とのコミュニケーションについて振り返り、住民の多様なこえや、地域に潜在するニーズを広く把握し理解し深く考え、地域の情報や施策など、伝えたいことや住民が求めている事を、より分りやすく発信することについて、SNS などを含めた様々な媒体の活用と注意すべき事を学ぶ。

(2) 講義内容と主な質疑応答

今回の講義では質疑応答は少なく、簡単な講義の後、日頃の住民とのコミュニケーションについて振り返り、受講生4人一組になり、さらに二人一組で住民と議員とに分かれての住民の声を聞く参加型演習を行いました。この演習では、住民のニーズをいかにして聞き出し理解してゆくかを学び、聞き出したニーズに対しどう対応するかを受講生同士で話し合い、その結果を発表する事により、いっそうの理解につながりました。

また、地域の情報や施策など住民に伝えたいことや、住民が必要としている情報を分りやすく発信する事について、SNS などのインターネット活用した方法等を学びました。

また、演習中に SNS を使って実際に情報発信をしている3人の受講生か

ら発信方法と、それによる住民からの反応などを発表していただき、本間先生からそれぞれの受講生に対し、細かな活用方法について良いところや改善点などの説明がありました。

(3) 参考となる点及び課題

私のような高齢者にとって、SNS の活用は Facebook を見聞きし、年に数回発信する程度でしたが、今回の受講で SNS の活用の重要性を強く感じ、今後はより頻繁に様々な SNS を勉強しながら発信して行く考えになりました。

課題は、高齢者の発信をどれだけの市民が受けとっていただけるかが疑問です、また、発信対して市民の反応があるかも心配になります。

◎成果による当局への提言または要望等

今回の研修は、住民とのコミュニケーションの方法や、SNS の活用で市民への発信をどのようにすべきかとの講義・演習でしたので、この研修からの提言や要望等はありません。

今回研修で学んだ SNS 等の活用で市民からの反応を見ながら、提言や要望を考えてゆくつもりです。